

Musashi Can-do Statements

		1 年前期	1 年後期	2 年前期	2 年後期	3 年前期	3 年後期
理 解	聞くこと	日常生活の身近なトピックについての話をゆっくりはっきりと話されれば、場所や時間等の5W1Hに関する情報を聞き取ることができる。	ゆっくりはっきりと話されれば自分自身や自分の家族・学校・地域など身の回りの事柄に関する内容を聞き取ることができる。	ゆっくりはっきりと2回放送されれば公共の乗り物や駅や空港の短い簡潔なアナウンスを理解することができる。	イラストや写真のある指示文を、ゆっくりはっきりと話されれば、複数の情報を結び付けて理解することができる。	少し長めの対話でも、はっきりとなじみのある発音であれば、その要点を理解することができる。	自然な速さの録音や放送を聞いて、具体的な情報の概要を聞き取ることができる。
	読むこと	平易な英語で書かれた200語程度の身近な内容の文章を、辞書を用いながら理解することができる。	外国語学習者向けに書かれた200語程度の物語や説明文を、辞書を用いながら理解することができる。	一文が短く、単純な構文を用いて書かれた短い物語や説明文の大意を理解することができる。	外国語学習者向けの易しい英語で表現されていれば、具体的に内容が予想できるものから必要な情報を探することができる。	社会問題など、ニュースで取り上げられるような話題に関する文章を読み、その要点を理解することができる。	平易な英語で書かれた700語程度の文章を一度に読み、内容を深く読み味わうことができる。
話すこと	やりとり	自分自身・家族・友人・学校生活等の身近なトピックに関して、ゆっくりと繰り返し話されれば、Yes・Noを含み、6語程度で意見を述べられる。また、既習したもしくは指定された表現の語句を置き換えて相手に尋ねることができる。	身近なトピックに加えて、絵や図等に描かれる実際に体験していない場面に関して、幾度か話されれば、Yes・Noを含み、6語程度で意見を述べられる。また、既習したもしくは指定された表現の語句を置き換えて相手に尋ねることができる。	順序を表す表現である first, then, next などのつなぎ言葉を使って、40wpmで1分間やり取りを続けることができる。	60wpmで意見や気持ちをやりとりしたり賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、物や人を比べたりすることができる。	80wpmで社会的な話題（環境・教育など）について、簡単な英語を使い、他者と意見を交換することができる。	英語のネイティブ・スピーカーの先生に対し、自分が関心をもつことについて、簡単な英語を使い、説明したり情報交換したりすることができる。
	発表	前もって発話することを用意した上で、自分自身の事柄や日常生活の身近なトピックについて、既習の語や表現を用い、簡単な意見を30語程度で言うことができる。	前もって発話することを用意した上で、日常生活の身近なトピックや教科書の内容について、既習の語や表現を用い、簡単な意見を40語程度で言うことができる。	前もって発話する内容を準備していれば一連の簡単な語句や文を使って、身近な話題について40～50語で意見を言うことができる。	写真や絵などの視覚的補助を利用しながら、一連の簡単な語句や文を使って、自分の毎日の生活に直接関連のあるトピックについて50語～60語で意見を言うことができる。	写真や絵などの視覚的補助を利用しながら、順序立てて出来事を描写したり、自分の意見を説明したりすることができる。	自分が経験したこと（学校行事など）について、写真や絵などの視覚的補助を利用しながら、感想や要点を順序立てて伝えることができる。
書くこと	身近なことについての紹介や感想を、簡単な語や基礎的な表現を用いて、30語程度の英文で書くことができる。	自分が興味のあることに関する説明や感想を、辞書を用いながら、30語～40語で書くことができる。	参考となる英文があれば、簡単な英語を用いて身近な話題について40語～50語のまとまりのある文章を書くことができる。	身近な内容であれば、与えられた命題に対して賛成、反対の立場を表明して、理由を挙げて60語～80語で意見を書くことができる。	身近な状況で使われる語彙・文法を用い、辞書を使用すれば、複数の段落で、出来事を描写したり自分の意見を書いたりすることができる。	社会的な問題について、100語程度の文章で、論理展開および段落の構成を意識しながら書くことができる。	